



2018 Kashin Disclosure

かしんディスクロージャー

鹿児島信用金庫



会 長
後藤 孝行



理事長
中俣 義公

ご あ い さ つ

皆さまには、平素より鹿児島信用金庫に格別のお引き立てをいただき、誠にありがとうございます。
日頃のご愛顧とご支援を心から感謝申し上げます。

ここに第96期業務概況と決算をとりまとめた「2018 かしんディスクロージャー」を作成いたしました。
ご高覧賜り、当金庫へのご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

昨年度の日本経済は、海外の景気回復や大企業を中心とした企業収益の改善による設備投資の高まりに加えて、個人消費が底堅く推移したことなどにより、緩やかな回復基調が継続しました。

鹿児島県内の経済は、人口や事業所減少などの構造的問題を抱えているものの、国内経済の景気回復や個人所得の改善などを背景に、全体として緩やかな景気回復が続いています。また、今年は明治維新150周年を迎え、大河ドラマ「西郷どん」の放映等で観光客が増加していることより、景気の拡大に弾みがつくものと期待されます。

しかしながら、地元中小企業に波及する景気拡大の動きは緩やかであり、加えて経営者の高齢化や後継者の不在、労働力不足などの様々な経営課題を抱えている現状を踏まえ、当金庫は企業サポート部を新設し、お取引先への伴走的なサポートを通じて、より深い関係づくりの構築やお取引先が抱える課題の解決に努めております。

このほか、地域貢献活動「かしんの杜」事業を通じて地方創生に向けた活動に努めたことや、事業性評価を重視した融資にも積極的に取り組んだことにより、本業による収益が増収となり一定の最終利益を確保するなど、順調な業績を収めることができました。皆さま方のこの1年間のご支援、ご協力に厚く感謝申し上げます。

今年度は、中期計画「共創力の発揮」の初年度として、当金庫の独自性・強みに磨きをかけ、お取引先や地域を支え共に成長・発展する好循環の形成と、地域と金庫の豊かな未来を創り上げていくことを目指し、役職員一同全力を尽くしてまいります。

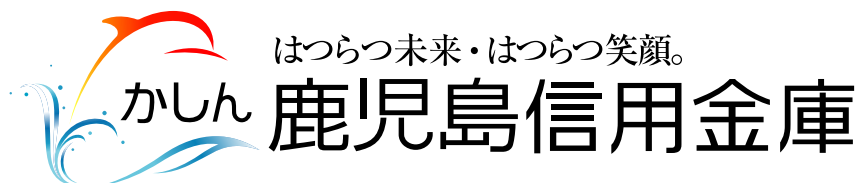
皆さま方におかれましては、何卒、今後とも一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成30年7月

会 長 後藤 孝行
理事長 中俣 義公



コーポレートマーク



CONTENTS

ごあいさつ	1
当金庫の概要	2
役員	3
組織図	4
信用金庫のしくみについて	5
29年度の事業概況	7
中小企業の経営の改善及び 地域の活性化のための取組みの状況	9
内部統制システムについて	19
リスク管理体制	22
コンプライアンス態勢について	23
金融A D R制度への対応	27
一年のあゆみ	29
業務内容	31
店舗一覧	35
信金中央金庫のご案内	38
資料編	40

当金庫の概要

本店所在地／鹿児島市名山町1番23号	
創	立／大正11年10月1日
会	員 数／45,278人
出	資 金／40億8百万円
預	金／3,106億円
貸	出 金／2,088億円
店	舗 数／44ヶ店(代理店含む)
常勤役職員数／415人	

(平成30年3月31日現在)

Kashin Disclosure 2018



左から（日置常務理事、中俣理事長、後藤会長、竹原常務理事）

役員

（平成30年6月21日現在）

■会 長 後 藤 孝 行	■常勤理事（監査部長） 西 哲 郎	■常勤理事（本店営業部長） 恒 見 良 文	■監 事 上 川 路 長 生
■理 事 長 中 俣 義 公	■常勤理事（業務統括部営業推進担当） 栗 田 広 次	■理事（相談役） 岩 男 秀 彦	■監 事 東 條 正 博
■常務理事 竹 原 毅	■常勤理事（業務統括部長） 市 川 博 海	■理 事 小 正 芳 史	■監 事 梅 田 望
■常務理事 日 置 洋 蔵	■常勤理事（総務部長） 富 松 茂 一	■常勤監事 武 田 文 昭	

※理事 岩男 秀彦、小正 芳史は、信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。

※監事 東條 正博、梅田 望は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

経営理念

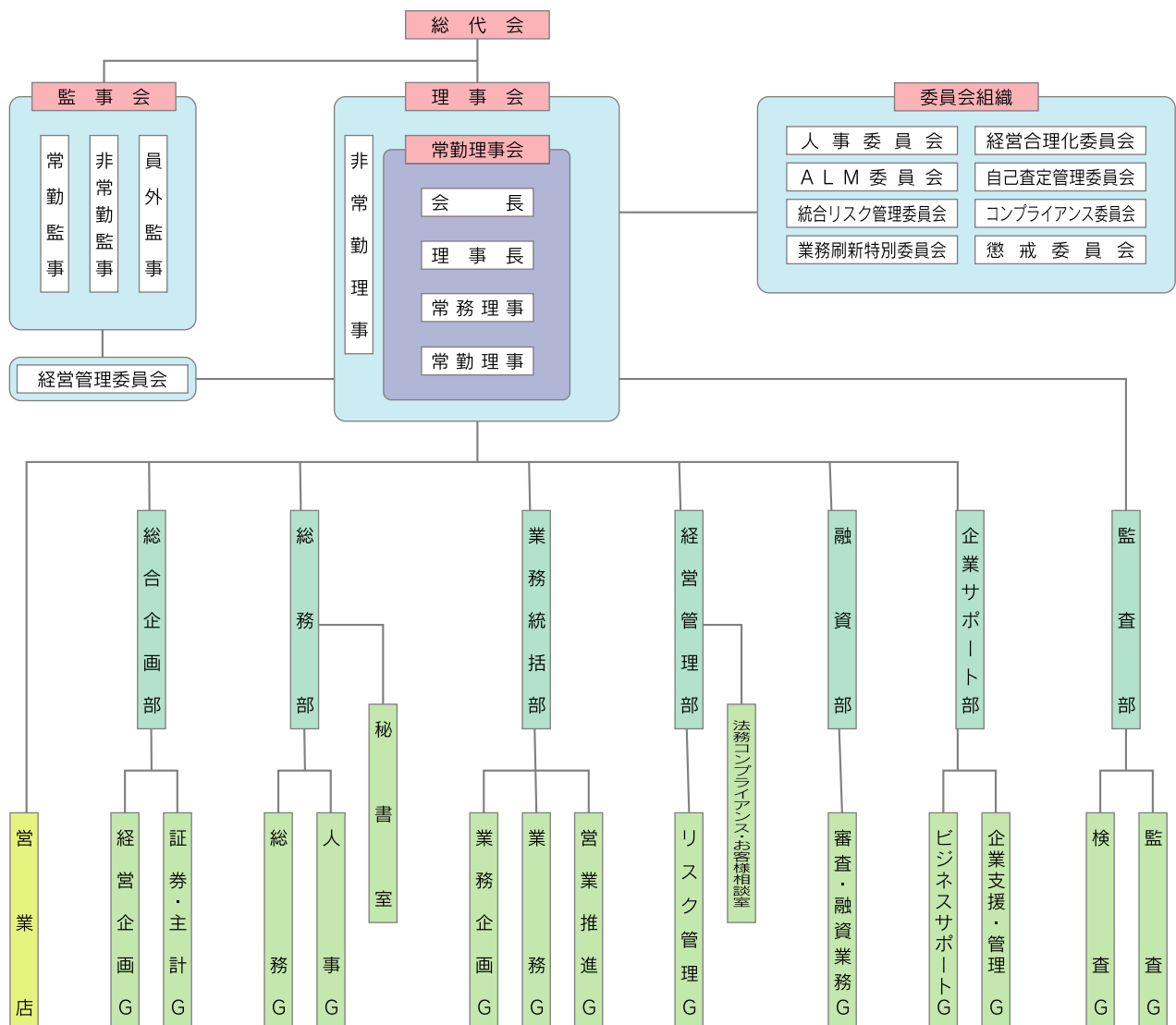
中小企業の健全な発展と地域社会の繁栄のため地域金融機関として密接な関係づくりに努めるとともに、経営活動を最大限に効率化し、いかなる環境変化にも耐え得る経営体質をつくりあげ、お客様の総合的パートナーとして、また地域文化の発展に役立つ金融機関として皆様とともに成長・発展を目指します。

基本方針

- 我々は地域経済の伸展に寄与する。
- 我々は自己の職責を誠実に果たす。
- 我々は中小企業者へ奉仕する。
- 我々はお互いの資質向上に努める。
- 我々は金庫の健全経営に協力する。

組織図

(平成30年2月26日現在)



信用金庫のしくみについて

総代会制度について

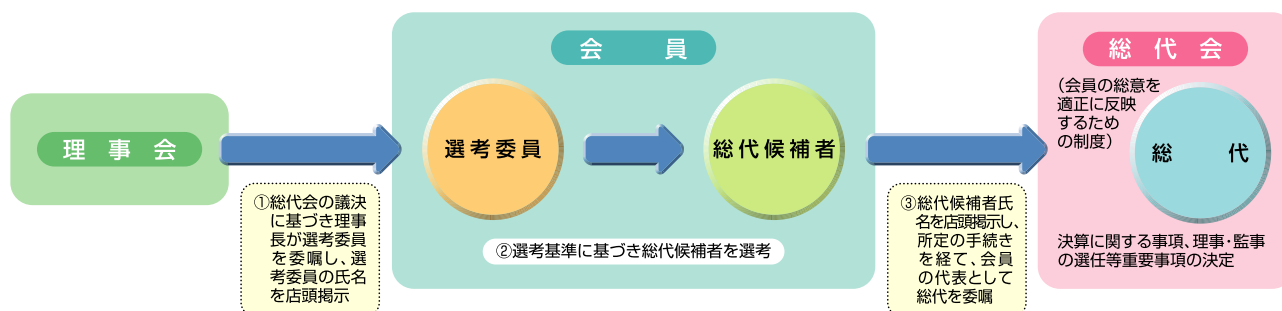
1 総代会とはどういうものなのでしょう

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員1人1人の意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では会員数が大変多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は総会と同様に、会員1人1人の意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続により選任された総代により運営されております。

なお、当金庫では、総代会の機能強化に向け自主的な取組みを実施しております。総代選考のための選考委員は、総代会の決議を経て決定することに変更しました。また、深い見識を持つ総代のご意見を経営に活かしていきながら、より多くの方が総代に就任することができるよう、総代の定年制や重任制限についても検討を行ってまいります。

総代会は、会員1人1人の意見を適正に反映するための開かれた制度です



2 総代とその選任方法(当金庫 定款24条～30条 及び 総代会選任規程)

(1) 総代の任期・定数

- ・ 総代の任期は3年です。
- ・ 総代の定数は150人以上180人以下で、各選任区域の定数は、その区域の会員数に応じて定められています。

平成30年3月31日現在

選任区域	会 員 数			主 な 営 業 区 域
	法 人	個 人	合 計	
1区	1,861	8,750	10,611	本店営業部・高見馬場支店・武之橋支店・伊敷支店・吉野支店・上町支店・岡之原支店
2区	2,063	8,848	10,911	武町支店・城西支店・鴨池支店・郡元支店・紫原支店・甲南支店・谷山支店・田上支店・脇田支店・坂之上支店・南栄支店
3区	1,569	8,295	9,864	指宿支店・串木野支店・枕崎支店・湯之元支店・伊集院支店・高尾野支店・市来出張所・加世田支店・出水支店・川内支店・阿久根支店・知覧支店
4区	1,975	11,917	13,892	加治木支店・鹿屋支店・国分支店・大口支店・栗野支店・隼人支店・牧園支店・宮之城支店・蒲生支店・始良支店・寿支店・志布志支店
合計	7,468	37,810	45,278	

(2) 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。

そこで総代の選考は、次の3つの手続を経て選任されます。

- ① 会員の中から、総代会決議により総代選考委員を選任する。
- ② その総代選考委員が総代候補者を選考する。
- ③ その総代候補者を会員が信任する(異議があれば申し立てる)。

(3) 総代の選考基準

- ① 資格要件
 - ・ 当金庫の会員であること
- ② 適格要件
 - ・ 総代として相応しい見識を有していること
 - ・ 良識をもって正しい判断ができる人であること
 - ・ 地域における信望が厚く、総代として相応しい人であること
 - ・ 人格、見識に優れ、当金庫の発展に寄与できる方
 - ・ 金庫の理念・使命をよく理解し、金庫との緊密な取引関係を有する方

◆第96期通常総代会◆

第96期通常総代会が、6月21日(木)「かしんアイホールビル」6階ホール(鹿児島信用金庫高見馬場支店)において開催されました。

総代総数157名中146名出席のもと以下の議題が附議され、賛成多数で可決されましたことをご報告いたします。

【報告】業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件

【議案第1号】 剰余金処分案承認に関する件

【議案第2号】 会員除名に関する件

【議案第3号】 定款一部変更の件

【議案第4号】 総代選考委員選任の件

【議案第5号】 理事並びに監事の退任に伴う補充の件

【議案第6号】 退任役員に対し退職慰労金贈呈の件



鹿児島信用金庫総代名

(平成30年6月30日現在 総代数157名 本誌掲載総代数157名)

記載の方々が当金庫の総代として、会員の方々を代表して当金庫の経営に参加されております。

※ここに記載してあります総代の方々には、個人情報の第三者への開示について事前に同意をいただいて、公表しております。

[illegible]

※氏名の後の数字は、総代への就任回数

総代の属性別構成比

※業種別の構成比は、法人・法人代表者、個人事業主に限る。

就任回数別	10期以上10.8% 5期～10期未満24.8% 1期～5期未満64.3%							
年 代 別	70代以上33.1% 60代 49.6% 50代 14.0% 40代以下3.1%							
職 業 別	会社役員92.4% 個人事業7.0% 個人0.6%							
業 種 別	製造業10.8% 建設業28.6% 不動産業5.7% 卸・小売業22.2% 医療福祉3.1% サービス業21.6% その他7.6%							

29年度の事業概況

1 事業方針

平成29年度は、新3カ年計画「かしん 未来への挑戦(平成27年4月1日～30年3月31日)」の最終年度として、「支援力・営業基盤の強化」「経営力・内部態勢の強化」「組織力・人材力の強化」「つなぐ力・総合力の強化」を金庫全体の事業方針として掲げ事業に取り組んでまいりました。

2 金融経済環境

日本経済は、デフレ脱却と強い経済の実現を目指す「アベノミクス」による積極的な公共投資や、海外景気の持ち直しによる外需を下支えとして、大企業を中心とした企業収益が堅調に推移するとともに、雇用・所得環境の改善が進むなど、緩やかな回復基調が続いています。

一方、鹿児島県の景気は、企業の生産活動や設備投資が堅調に推移していることや、国内の景気回復や雇用・所得環境の改善などを背景に消費マインドが高まりを見せ、また、観光関連も海外定期便の増便やLCCソウル線新規就航の効果等により、海外からの観光客の増加に加え、平成28年4月に発生した熊本地震の影響も回復するなど、緩やかに持ち直しています。

また、今年は明治維新150周年を迎え、大河ドラマ「西郷どん」の放映等で観光客が増加していることから、景気の拡大に弾みがつくものと期待されます。

3 業績

当金庫は、国と地方が地方創生の実現に向けて「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に総力を挙げて取り組んでいる中、「地域創生・活性化」に積極的に参画したことや、事業性評価を重視した融資取組みを積極的に行うなど、信用金庫の独自性・特性を生かした取組みを通じて地域や取引先の様々な課題を解決することに向けた活動を実践したことより、当期末における貸出金残高は、前期に比べ36億57百万円増加し2,088億55百万円となりました。

また、取引基盤の拡大にも取り組み、預金残高は前期に比べ20億17百万円増加し3,106億2百万円となりました。

収益面では、貸出金残高の増加に伴う貸出金利息の増加などにより、業務純益は前期に比べ2億35百万円増加し16億22百万円となりました。しかしながら、不良債権の削減に積極的に取り組んだ結果、経常利益は前期に比べ2億76百万円減少し4億64百万円、当期利益は前期に比べ2億21百万円減少し2億82百万円となりました。なお、不良債権比率は前期に比べ0.40ポイント改善し3.63%となりました。

4 事業の展望及び当庫が対処すべき課題

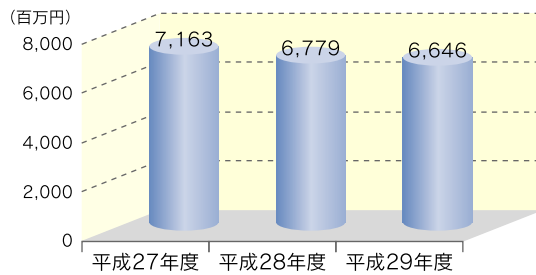
政府においては、生産性の向上と新たな価値創出力の強化を通じた中長期的な経済成長の実現に向けて、平成29年6月に「未来投資戦略2017」を策定し、第4次産業革命のイノベーションをあらゆる産業や社会生活に取り入れる「Society5.0」の実現や、一億総活躍社会を目指す「働き方改革」に向けた取組みを加速させています。

また、持続的な経済成長の実現に向け、「生産性革命」と「人づくり革命」を車の両輪として、少子高齢化という最大の壁に立ち向かうため、平成29年12月に「新しい経済政策パッケージ」を閣議決定しました。これらの政策の効果により、景気は緩やかな回復が続くことが見込まれます。

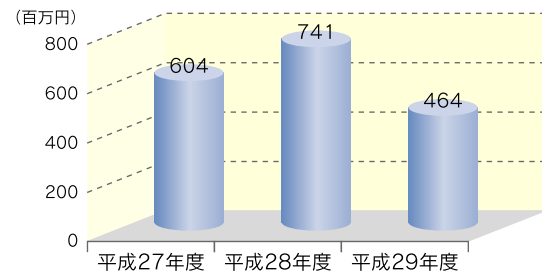
このような環境の中、当金庫は、信用金庫の大きな使命である地域社会への貢献のために、地域金融機関に求められる課題にタイムリーに対応し、地域経済の発展に全力で取り組んでまいります。

また、平成30年度は、新中期計画「共創力の発揮」の初年度として当金庫の独自性・強みに磨きをかけ、お客様や地域を支え、共に成長・発展する仕組みを深化させていくことで、地域金融機関として強固な経営基盤を確立し、豊かな未来を創り上げていくことを目指し、役職員一同全力を尽くしてまいります。

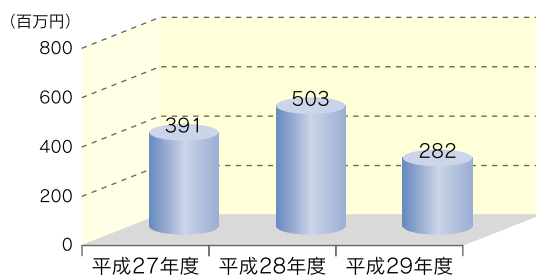
【経常収益】



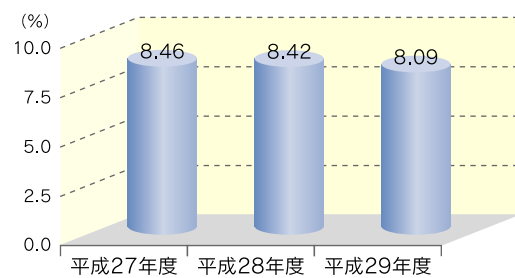
【経常利益】



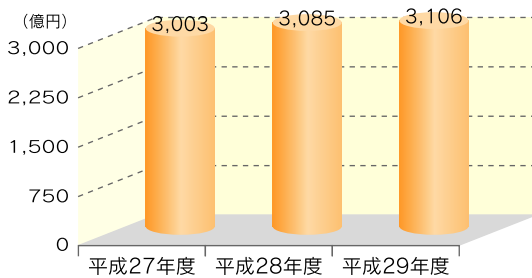
【当期純利益】



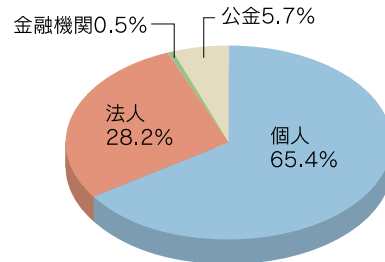
【自己資本比率】



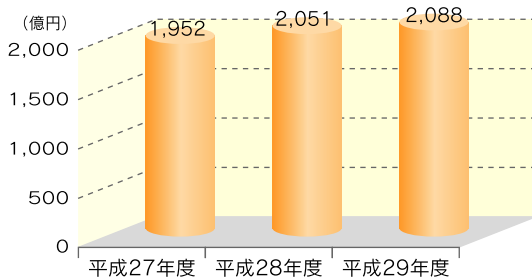
【預金積金残高】



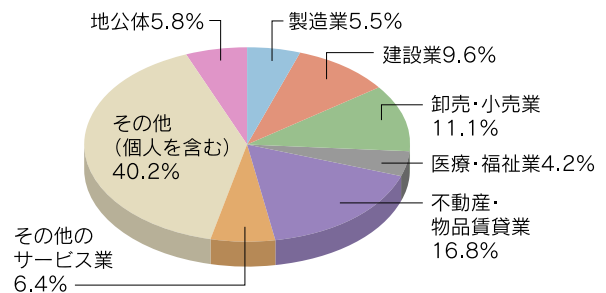
【預金残高全体に占める預金者別割合】



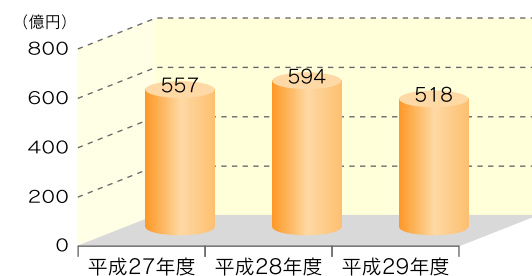
【貸出金残高】



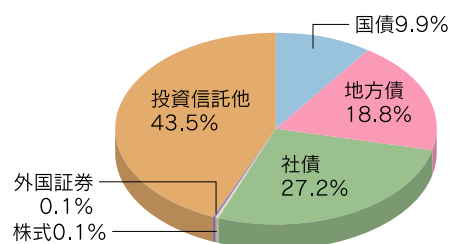
【貸出金残高の業種別比率】



【有価証券残高】



【有価証券残高の内訳別比率】



中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況

かしの杜

「つなぐ力の発揮」 かしの地域貢献活動

地域の活性化を図るため、鹿児島信用金庫の地域貢献として「かしの杜」（かしん総合人材育成構想）活動を行っております。

かしの杜

① 経営の杜

- ①かしん経営大学
- ②かしんビジネスチャレンジプラザ
- ③かしんトップマネジメント大学
- ④かしん経営者フォーラム
- ⑤かしん経営相談室

② 教育の杜

- ①かしんアイホールセミナー
- ②硬筆コンクール協賛

③ 音楽の杜

- ①チャリティー演奏会
- ②南日本音楽コンクール協賛
- ③各種ミニコンサート

④ スポーツの杜

- ①かしんカップ少年サッカー大会
- ②かしん旗少年剣道大会
- ③鹿児島信用金庫旗争奪
全日本少年軟式野球大会
- ④各種スポーツ大会主催

⑤ 緑の杜

- ①植樹による「かしの森」活動
- ②各種エコ活動

⑥ その他

- ①各地域での清掃活動
- ②献血活動

経営の杜

①かしん経営大学 ～地方創生の取組みは第2ステップへ～

経営戦略や企業発展を目指すための勉強を目的として、平成8年に開校した「かしん経営大学」は21年目を迎えました。平成29年度は、受講生、地方公共団体職員、当金庫職員が一体となり、地域活性化のための事業計画の立案に取組み、それぞれ素晴らしい事業計画が完成しました。

かしん経営大学では、経営に必要な知識や考え方、スキルを学ぶ座学研修とその学んだ知識を生かしてグループワークを行います。異業種によるグループワークで一つのテーマに基づいた事業計画を作成することで、各業種から参加された方々が自らの業界との比較や経営方法を他社から学び活かしていくことは、非常に貴重な経験となります。



②かしんビジネスチャレンジプラザ

「かしん経営大学」卒業生のフォローアップと県内中小零細企業活性化のための経営者育成並びに創業を支援し、多彩なビジネスを創造することで地域産業の成長に貢献することを目指しています。

かしんチャレンジマーケット in AMU広場

鹿児島中央駅AMU広場において、当金庫の顧客・経営大学の卒業生等を対象に、顧客との対面販売を通じた商品のPR販売や、従業員の「売る気と売る技術」を磨くとともに、顧客の反応を肌で感じる場の提供を平成24年より実施しております（年間12回）。



③かしんトップマネジメント大学

お取引先法人企業経営者の人材育成および企業の業績を向上させるとともに、地域経済の浮揚を図ることを目的として、「かしんトップマネジメント大学」を平成22年から開校しております。

トップマネジメント大学では、法人企業の経営者および後継者、役員、部課長などの経営幹部を対象とし、税理士や中小企業診断士等の講師が、主に経営戦略・経営課題・財務分析を専門的に、またわかりやすく講義しています。



④かしん経営者フォーラム

参加企業の成長・発展と人材育成を目的として、大いなる事業繁栄と地域の活性化を目指し、平成25年7月に「かしん経営者フォーラム」を開校いたしました。県内企業の若手経営者、経営幹部、後継者の方々を対象に、各界講師による経済・経営・財務・マーケティング・人事・労務などの様々な経営に関する勉強を行っています。

平成30年度は、当金庫の伴走的サポートの取組みとして事業承継問題をテーマに、専門家、当金庫職員が一体となってお客様の事業承継の課題に取り組む「事業承継塾」を開催しております。



⑤かしん経営相談室

地域創生・活性化の支援と取引先の経営力強化のため、外部専門機関等と連携し、「かしん経営相談室」を無料で開設しております。

- 日時：随時
- 会場：かしんアイホールビル2階、お取引営業店
- 対象：当金庫取引先の法人企業経営者、個人事業者及び創業予定者
- 相談：予約制とし、事前に経営相談申込書を頂いたうえでご相談に応じます。
(1回の相談時間：原則2時間)

内 容

- ①経営全般の相談
- ②創業・新事業相談
- ③相続・事業承継相談
- ④税務相談
- ⑤その他

相談員

株式会社
アセットパートナーズ南九州
税理士法人
さくら優和パートナーズ

商談会への出展支援 ～信用金庫のネットワークを活用したビジネスマッチング支援～

全国の信用金庫のネットワークを通じて、お客様の「売りたい」「買いたい」などの取引機会に役立つ情報を提供しております。また、本県食品関連産業の振興を図るため、県内生産者・食品加工業者の方々を対象に、首都圏や県内外に向けて食品を紹介し、県内7金融機関で構成する「鹿児島県アグリ＆フード金融協議会」の一員として市場における販売ルートの開拓や販路拡大を目指す実践的な商談会への参加の他、県外信用金庫の主催する商談会にも参加するなど、お取引先のビジネスマッチング支援を行っております。

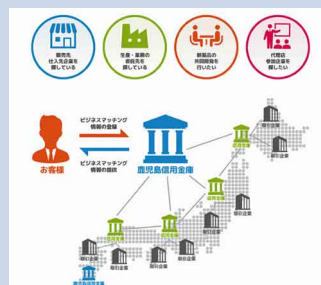
主な商談会

南の逸品商談会(東京都)
うんまか鹿児島輸出商談会 2017(鹿児島)
かごしまの逸品商談会(鹿児島)
よい仕事おこしフェア(東京都 城南信用金庫主催)



信用金庫のネットワークを活用したビジネスマッチング情報の提供

平成29年度 全国266社の情報を提供



かしの杜

教育の杜

①かしんアイホールセミナー

皆様の暮らしに役立てていただくことを目的として、年金・医療分野など国内情勢に応じた身近なテーマで、平成23年から「かしんアイホールセミナー」を定期開催しております。これからも、多くの方が興味をもたれる分野をテーマにアイホールセミナーを開催します。



アイホールセミナー開催内容

演 題	講 師
「21世紀の新しいがん治療 「粒子線治療」について」	菱川 良夫 氏 財団法人メディボリス医学研究財団 がん粒子線治療研究センター長
「自己責任時代を生きる知恵」 ～年金・保険・家計の基礎知識～	瀬尾 由美子 氏 ファイナンシャルプランナー・CFP® 宅地建物取引主任者
『ニュースでよく聞く経済の話』	加藤 純 氏 しんきんアセットマネジメント投信 運用本部 信金マーケティング部長
『その振り込み、だいじょうぶ?』 ～振り込み詐欺の現状について～	奥平 三孝 氏 鹿児島県警察本部犯罪抑止対策室長
『痛み解消セミナー』 ～“痛み”悩みよ、さようなら～ 肩こり、腰痛、膝痛	片山 司 氏 清泉クリニック整形外科 理学療法士
消費税増税のポイントとその実務的対応策	岩元 耕児 氏 税理士法人 鹿児島さくら会計 税理士
『“がん”と診断されたら…』 ～2人に1人が“がん”に罹患する時代～ 賢く対応する智慧を身につける	永田 良一 氏 一般財団法人 メディボリス医学研究財団 理事長
大增税時代に備える「相続対策セミナー」	貫見 昌良 氏 税理士法人 鹿児島さくら会計 税理士
「事業者のためのマイナンバー対策」	小福田 博 氏 税理士法人 南九州総合会計
その振込だいじょうぶ?～天ちゃん劇団による寸劇～ サイバー犯罪から身を守る ～サイバーセキュリティカレッジ～	鹿児島中央警察署 天文館・地域安全対策室 鹿児島県警察本部 サイバー犯罪対策室
社会人のためのマナーセミナー	中村 朋美 氏 フリーアナウンサー
明治維新150周年 鹿児島が生んだ維新の英雄 西郷隆盛 ～いまだから知っておきたい西郷どんのこと～	安川 あかね氏 西郷隆盛研究家(城山ホテル鹿児島所属)

②硬筆コンクール協賛

KKB硬筆コンクールは、文字を正しく、整えて、丁寧に書くことを大切にする心を育み、文字文化の振興と発展に寄与することを目的としており、当金庫も「教育の杜」事業として協力しています。

県内外の学校や書道教室等から、4,400点を超える出展者の日々の研鑽と指導者の熱意が強く感じられる作品の応募があり、鹿児島信用金庫賞の授与も行います。

また、特別賞受賞作品については、アイホールビル2階「アイギャラリー」での展示に加え、地方店舗において地方巡回展も行っております。



音楽の杜

①かしんチャリティー演奏会

社会貢献活動の一環として毎年チャリティー演奏会を開催しています。ステージは、創部80年を超える「鹿児島信用金庫 吹奏楽部」と地元で活躍されている音楽家の方々と楽しいコンサートです。

また、皆さまから寄せられました慈善会員券の売上代金と寄付金の浄財は、全額社会福祉事業等へ寄付しております。皆さまの善意に深く感謝申し上げます。



吹奏楽部の出演行事	主催(場所)
霧島国分夏まつり	霧島国分夏まつり実行委員会(霧島市)
宇宿納涼夏祭り	宇宿商店街振興組合(鹿児島市)
オロシティー夏まつり	鹿児島総合卸商業団地協同組合(鹿児島市)
指宿温泉祭	指宿温泉祭実行委員会(指宿市)
おはら祭	おはら祭振興会(鹿児島市)
第30回国民文化祭 吹奏楽の祭典	鹿児島市
吹-1グルメグランプリ 伊作流鍋馬	伊作流鍋馬保存会(日置市)
Orocity親子ふれあいチャリティーコンサート	鹿児島総合卸商業団地協同組合(鹿児島市)
いさのおんがくたい	いさのおんがくたい実行委員会(伊佐市)
南さつま海道鑑真の道歩き	南さつま海道鑑真の道歩き実行委員会(南さつま市)
かしんカップ少年サッカー大会	西紫原・錦江台・和田・鹿児島南SSS育成会連絡協議会(南さつま市)

②南日本音楽コンクール協賛

南日本音楽コンクールの歴史は半世紀以上におよび、ピアノ、管打楽、木管、金管、声楽、作曲の7部門に対して、参加者は小学生から大学生・一般と幅広く、県内の若手音楽家の登竜門として大きな期待を担っています。当金庫は、鹿児島の音楽文化発展のため、本コンクールに特別協賛するとともに、鹿児島信用金庫賞の授与も行っています。



かしの杜

スポーツの杜

①かしんカップ少年サッカー大会

サッカーを通じて各チームの相互の親睦と少年の健全育成を図り、あわせてサッカーの普及ならびに技術の向上を目的として、平成18年から「かしんカップ少年サッカー大会」を開催しております。

29年度は68チーム約1,000名の小学生が参加し、熱戦が繰り上げられます。また、「エコキャップ運動」を実施し、ペットボトルキャップ約49万個が参加者の協力で集められ、世界の子供たちへ感染症のワクチン代として寄付するための支援活動も行っています。



②かしん旗少年剣道大会

剣道を修行する青少年の気力・体力・技術の向上を図り、相互の親睦を深め、将来の郷土を担う青少年の健全育成を目的に平成24年から「かしん旗少年剣道大会」を開催しております。

29年度は小学生を中心に76チーム、約460名の少年剣士が集い、真剣なまなざしで元気いっぱいの試合を繰り上げます。また、回を重ねるごとに、大会規模も拡大され「かしん旗」という冠杯として県下一円に浸透しつつあります。



③鹿児島信用金庫旗争奪全日本少年軟式野球大会協賛

全日本少年軟式野球大会は、中学生を対象とした軟式野球大会です。県内の予選を勝ち抜いたチームは、九州大会、そして全国大会へと挑戦することから「中学生の甲子園」とされ、中学生球児憧れの大会となっています。当金庫は、優勝旗やメダルの提供を行うなど鹿児島県予選大会に協賛しており、「鹿児島信用金庫旗争奪全日本少年軟式野球大会」として開催されています。



④いぶすき菜の花マラソン協賛

いぶすき菜の花マラソンは、全国で開催されるマラソン大会の中でその年の最初に開催される公認のマラソン大会です。市民によるコース沿道での心温まるおもてなしでも全国的に注目を集めるなど、人気のあるマラソン大会となっており、毎年13,000名ものランナーが県内外から参加しています。当金庫は本大会に協賛し、市民ボランティアの一員として会場設営や大会会場で開催されるイベント等に協力を行っています。



緑の杜

当金庫では「みどり豊かな郷土」を次世代に引き継いでいくために、森林づくりや、環境緑化に取り組んでいます。「緑の杜」事業の一環として、「公益財団法人かごしまみどりの基金」へ寄付を行い、鹿児島県の森林整備に役立てていただいております。また、毎年4月29日に開催される「みどりの感謝祭」において、森林整備に取り組んでいる企業として同基金より感謝状をいただき、職員と家族による森林づくり活動も同時に開催しています。



お取引先とのつながりについて

かしんハッピー会

当金庫では、早くからお取引先との組織作りに力を入れております。

昭和38年11月、鹿児島信用金庫本店新築前に若手経営者の有志22名が将来の鹿児島の中核を目指し、また、当金庫の強力な推進母体となるべく、お互いの研鑽努力を誓いあって「かしんハッピー会」をスタートしました。その後、会員数も増加し、「会員の資質向上を図る場」「異業種交流の場」「会員相互間の親睦と連携を深める場」として全営業店単位で組織化、平成25年11月には設立50周年を迎え、現在は1,400名を超える会員で活動を行っております。また、講演会では毎回600名を超える参加者のもと、各界の著名な講師陣による講演会を開催しており、皆さまから好評をいただいております。



これまでの講師陣

- 鹿児島市維新ふるさと館特別顧問／福田賢治 氏
- シンクタンク・ソフィアバンク代表／藤沢久美 氏
- 鹿児島県観光プロデューサー／古木圭介 氏
- 鹿児島大学監事／伊牟田均 氏
- 俳優／榎本孝明 氏
- 奄美パーク園長／宮崎緑 氏
- 野球解説者・スポーツコメンテーター／広澤克実 氏
- 志学館大学教授／原口泉 氏

目的

- ・会員の資質向上・福祉の増進及び会員相互の親睦と友愛強調を図り、事業の健全経営を図る。
- ・金庫の事業進展に積極的に協力する。

活動内容

- ・各界講師・金庫役員等による講演会
- ・会員相互並びに金庫との情報交換や懇談会
- ・経営幹部のための諸研修会の開催
- ・ビジネスマッチング
- ・ゴルフコンペやその他の親睦会 など

KYC（鹿児島信用金庫青年クラブ）

次世代を担う若手経営者が、これから学びかつ進むべき道をお互いの連携の中で求め、鹿児島に寄与することをスロガンとして昭和49年に発足した異業種交流会であり、原則として50歳未満の会員をもって構成されています。

主な活動内容としては、例会、ボランティア活動、講演会、視察旅行、宿泊交流会等で会員自身による自主的な計画のもとで活動しています。



かしんレディース会

働く場面での活躍を希望する全ての女性が、その個性と能力を十分に発揮できる女性活躍社会の実現を応援するため、異業種交流によるキャリアアップとより輝きのある女性を目指すことを目的として、「かしんレディース会」を発会しました。

本会は、女性経営者をはじめとした多くの社会人女性の方々に構成されており、キャリアアップのためのセミナーや講演会等の様々な企画を予定しております。



金融仲介機能の発揮に向けた取組み

(基準日:平成29年3月31日)

当金庫は、「中小企業の健全な発展と地域社会の繁栄に努める」を経営理念として掲げ、地域とともに成長・発展する「好循環」に向けた取組みを、6つの杜で構成する地域貢献活動「かしの杜」を通じて展開しています。

特に「経営の杜」では、平成8年に開設した「かしん経営大学」を中核として、お取引先の本業支援や経営改善支援などにお役にたてるよう、各種セミナー等を開催しております。

こうしたなか、平成28年9月に金融庁から公表された「金融仲介機能のベンチマーク」(以下、「ベンチマーク」という。)の趣旨を踏まえて、当金庫の「かしの杜」を通じた金融仲介機能の発揮に向けた取組みと、その実施状況を客観的に指数で表したベンチマークを公表いたします。

今後もベンチマークを効果的に活用し、お取引先の経営課題に応じたソリューションの提供などに積極的に取り組んでまいります。

◆法人取引先数と地域別の取引先数及びメイン取引(融資残高1位)先数の推移

(単位:社)

ベンチマーク	平成27年3月末			平成28年3月末			平成29年3月末		
	鹿児島 市内	鹿児島 市外	地元外	鹿児島 市内	鹿児島 市外	地元外	鹿児島 市内	鹿児島 市外	地元外
法人取引先数	2,413			2,449			2,531		
地域別の取引先数の推移	1,202	1,204	7	1,212	1,232	5	1,262	1,265	4
法人メイン取引 (融資残高1位)先数の推移	1,506			1,521			1,602		
法人取引先数に占める割合	62.4%			62.1%			63.3%		

◆メインバンク(融資残高1位)として取引を行っている企業(法人及び個人事業者)のうち経営指標(売上・営業利益率・労働生産性等)の改善や就業者数の増加がみられた先数、及び同先に対する融資額の推移

ベンチマーク	平成27年3月末	平成28年3月末	平成29年3月末
全企業数(法人及び個人事業者)[グループ単位]		4,085	4,227
メイン取引(融資残高1位)先数(単位:社)		3,095	3,076
メイン取引先の融資残高(単位:億円)		1,027	1,082
経営指標等が改善した先数(単位:社)			997
3年間の事業年度末の融資残高(単位:億円)	472	525	569

◆ライフステージ別の企業（法人及び個人事業者）先数及び融資額

ベンチマーク	全企業先	創業期	安定期	再生期
ライフステージ別の企業に係る 事業年度末の企業先数（単位：先）	4,227	212	2,264	282
事業性評価に基づく融資を行っている企業先数及び 占める割合 （単位：社）	42			
	1.0%			
ライフステージ別の企業に係る 事業年度末の融資残高（単位：億円）	1,511	88	957	196
事業性評価に基づく融資を行っている企業先の融資 残高及び占める割合 （単位：億円）	79			
	5.2%			

◆本業（企業価値の向上）支援先数及び、全取引先数に占める割合

（単位：社）

ベンチマーク	全取引先数	本業支援先数	支援先の比率
本業支援先数及び、全取引先数 に占める割合	4,227	64	1.5%
本業支援のうち、経営改善が みられた先	—	(43)	(67.2%)
取引先の本業支援に関連する中小企業 支援策の活用を支援した先	1		

本業支援先：かしん経営大学、かしんチャレンジマーケット、各種商談会等への参加企業数

◆中小企業向け融資や本業支援を主に担当している従業員数及び全支店または全本部従業員に占める割合

ベンチマーク	従業員数 （単位：人）	中小企業・本業支援担当者数 （単位：人）	全従業員に占める割合
中小企業向け融資や本業支援を主に担当している従業員数及び全支店または全本部従業員に占める割合	370	156	42.2%
	99	17	17.2%

◆貸出条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況

（単位：社）

ベンチマーク	総 数	好調先	順調先	不調先
中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況	350	52	40	258
事業再生先 （取引先の経営再建や事業再生に取り組んでいる先）	23	4	3	16
中間管理先 （取引先の経営改善や経営課題解決に取り組んでいる先）	56	10	4	42
計	79	14	7	58
構成比	100%	17.7%	8.9%	73.4%

◆本業（企業価値の向上）支援・企業のライフステージに応じたソリューションの提供

ベンチマーク	平成28年3月末	平成29年3月末
創業に関与した件数（単位：件）	52	35
外部専門家を活用して本業支援を行った取引先数（単位：社）	21	29
事業承継支援先数（単位：社）	10	7
中小企業再生支援協議会の利用件数（単位：社）	10	9

「まち・ひと・しごと」地方創生の取組み

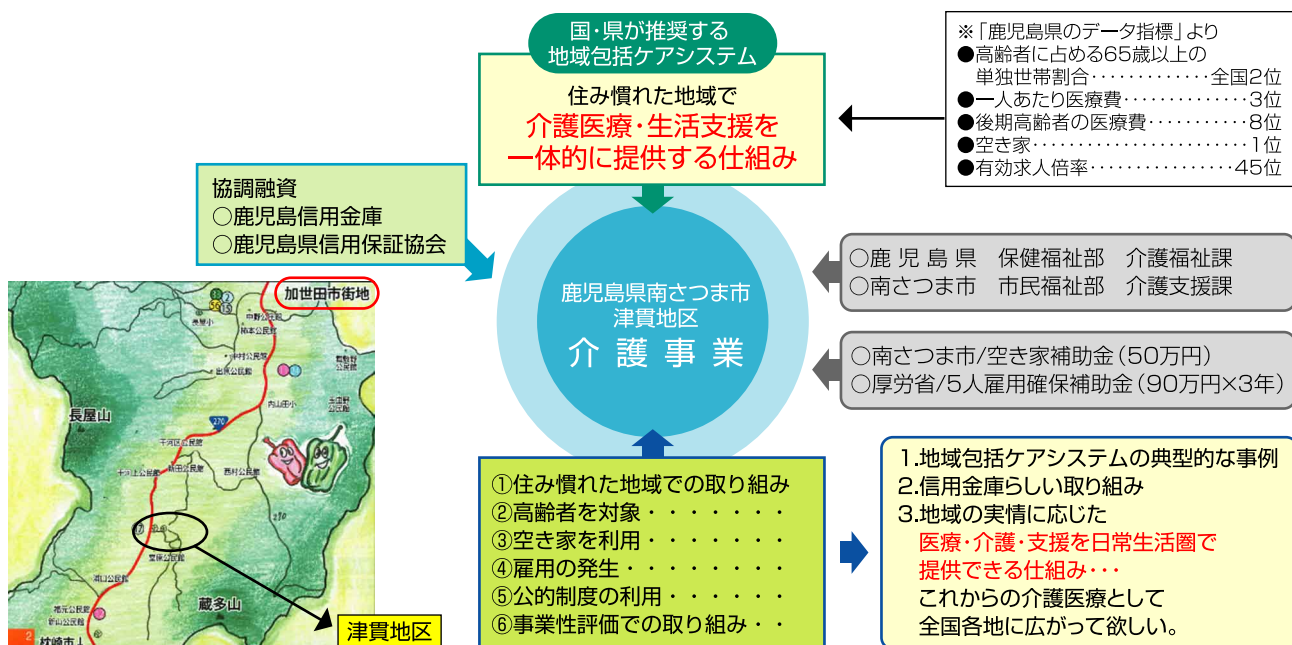
平成29年度は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中間年になり、各自治体とも「地方創生」がいよいよ本格的になってきました。

地方創生「特徴的な取組み事例」にノミネート

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部より「地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組み事例」として、'南さつま市津貫地方でのサービス介護事業'を支援した取組がノミネートされましたが、惜しくも大臣賞受賞の最終選考には及びませんでした。

これは、遠くまで行かなくても住み慣れた地元で受けられるサービス事業で、国・県が推奨する「地域包括ケアシステム」を実現したものです。この2例目として湧水町の幸田地区での取組みも始まりました。

高齢者の社会保障費の増加は大きな課題であり、高齢者が住み慣れた地域で実現できる介護社会はこれからの日本に重要なことです。当金庫は、今後もこうした地域支援を拡げていきたいと考えています。



月刊誌「信用金庫」地方創生特集に掲載!

月刊誌「信用金庫」(全信協発刊)9月号から「地方創生への取組み」の連載が始まり、当金庫が第1回目に取り上げられました。大手銀行のようなことはできませんが、地元密着だからこそできる信用金庫らしい地方創生の活動が紹介されました。



鹿児島信用金庫情報誌「IKIKI」の発刊

平成27年10月より当金庫の様々な取組みや情報を会員の皆様方をはじめ、多くの方々に知っていただくことを目的として情報誌「IKIKI」を創刊し、現在Vol.4まで発刊しております。

また、平成29年10月には当金庫の地域貢献活動の取組み内容を掲載した「かしんの杜ガイドブック」を発刊いたしました。



トピックス

当金庫職員の有田貴紀主任調査役が、第21回 信用金庫社会貢献賞「個人賞」を受賞しました。

「手品とは・・・」

このたびは、栄誉ある第21回信用金庫社会貢献賞「個人賞」を授与いただき、心より感謝申し上げます。

学生時代に師事していたプロマジシャンに、「手品は人と人をつなぐコミュニケーションツール」と教えられました。実際に人前で手品を披露させていただいた際に、非常に実感した言葉でした。

当金庫では、創部80年を超える吹奏楽部の活動をはじめとした様々な地域貢献活動を実施しておりますが、私自身も趣味を活かした独自の地域貢献活動を目指して、入庫以来、老人ホームや病院等の施設への慰問や地域行事等でマジックショーを披露させていただいております。今回の受賞を励みに、「かしん」の地域貢献活動の一つとして、これからもマジックショーを通じた地域貢献活動を継続していきたいと思っております。



地域金融円滑化のための基本方針

地域の中小企業及び個人のお客様に必要な資金を安定的に供給し、地域経済の発展に寄与するため、以下の方針に基づき、地域金融の円滑化に全力を傾注して取り組んでまいります。

1 取組方針

地域の中小企業および個人のお客様への安定した資金供給は、事業地域が限定された協同組織金融機関である信用金庫にとって、最も重要な社会的使命です。

私どもは、お客様からの資金需要や貸付条件の変更等のお申込みがあった場合には、これまでと同様、お客様の抱えている問題を十分に把握したうえで、その解決に向けて真摯に取り組みます。

2 金融円滑化の実施に向けた態勢整備

当金庫は、上記取組み方針を適切に実施するため、以下のとおり、必要な態勢、整備を図っております。

- ①当金庫では、お客様のご要望に応えるよう真摯に対応いたします。
- ②当金庫では、お客様の経営相談・経営指導・経営改善に向け積極的に支援いたします。
- ③当金庫では、金融円滑化管理方針及び同規程を策定しております。
- ④当金庫では、金融円滑化管理全般を統括する部門を設置しております。
- ⑤当金庫では、金融円滑化管理に関する担当役員等責任者を配置しております。

3 他の金融機関等との緊密な連携

当金庫は、複数の金融機関から借入れを行っているお客様から貸付条件の変更等の申し出があった場合など、他の金融機関や信用保証協会等と緊密な連携を図る必要が生じたときは、守秘義務に留意しつつ、お客様の同意を得たうえで、これらの関係機関と情報の確認・照会を行うなど、緊密な連携を図りながら地域金融の円滑化に努めてまいります。

「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客様からお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者保証の必要性については、お客様との丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

なお、29年度に当金庫において、新規に無保証で融資した件数は545件、新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合は8.54%、保証契約を解除した件数は1件でした。保証債務整理については、当金庫をメイン金融機関として成立に至った経営者保証に関するガイドラインに基づくお申し出はありませんでした。

●平成29年度 経営改善支援等の取り組み実績

(単位:先数)

	期初 債務者数 A	うち 経営改善支援 取り組み先数 B	Bのうち期末に 債務者区分が ランクアップ した先数 C	Bのうち期末に 債務者区分が 変化しなかった 先数 D	Bのうち 再生計画を 策定している 全ての先数 E	経営改善支援 取り組み率 B/A	ランクアップ 率 C/B	再生計画 策定率 E/B
正常先 ①	3,034	12		0	1	0.4%		8.3%
要注意先 うちその他要注意先 ②	447	119	3	112	45	26.6%	2.5%	37.8%
うち要管理先 ③	20	17	6	10	13	85.0%	35.3%	76.5%
破綻懸念先 ④	78	28	0	24	13	35.9%	0.0%	46.4%
実質破綻先 ⑤	39	0	0	0	0	0.0%	—	—
破綻先 ⑥	6	0	0	0	0	0.0%	—	—
小計 (②～⑥の計)	590	164	9	146	71	27.8%	5.5%	43.3%
合計	3,624	176	9	146	72	4.9%	5.1%	40.9%

(注)・期初債務者数及び債務者区分は29年4月当初時点で整理しています。

・債務者数、経営改善支援取り組み先は、取引先企業(個人事業主を含む)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含みません。

・Cには、当期末の債務者区分が「初期よりランクアップした先数」を記載しています。なお、経営改善支援取り組み先で期中に完済した債務者はBに含めるもののCに含めていません。

・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はCに含めています。

・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取り組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が「初期の債務者区分」と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理しています。

・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めていません。

・Dには、期末の債務者区分が「初期」と変化しなかった先数を記載しています。

・みなし正常先については正常先の債務者数に計上しています。

・「Bのうち再生計画を策定している全ての先数 E」には、当金庫独自の再生計画策定先のほか、中小企業支援協議会、RCC、地域経済活性化支援機構、産業復興機構、東日本大震災事業者再生支援機構などと連携した再生計画策定先を含みます。